

新基地建設反対名護共同センターニュース

県民投票の勝利受け 氣勢上がるゲート前



国会で安倍政権を徹底的に追及した論戦の様子を報告した赤嶺政賢衆院議員

土曜行動に1300人結集
オール沖縄会議は2日、定例の第1土曜のゲート前県民大行動を開催、各地島ぐるみから1300人の県民が結集しました。県民投票で圧倒的な「辺野古反対」の民意が示された直後で、稲嶺進共同代表やオール沖縄国会議員や県議会与党会派代表は、口々に「安倍政権は沖縄の民意を尊重すべきだ。憲法と民主主義を守り、新基地建設は中止すべきだ」と訴えました。

沖縄の民意を尊重しない 国の民意などありえない
赤嶺政賢衆院議員が、岩屋防衛大臣が「沖縄には沖縄の民主主義があり、国には国の民主主義がある」などと述べたことについて「沖縄の民意を尊重しない国の民意などありえない」と痛烈に批判。国会論戦で大浦湾の軟弱地盤を国が根拠も示さず改良工事が可能と答弁した無責任さを糾弾しました。渡久地修県議が県民投票で勝ち取った成果を様々な角度から報告し、参加者に確信を与えました。4月21日投票の屋良朝博衆院3区予定候補が決意を表明、大きな拍手と激励の歓声が上がりました。最後に全員で辺野古新基地建設中止を求め「頑張ろう三唱」し閉会しました。

日本の平和にとって「障害」は安倍首相だ！ —障がい者辺野古のつどいに400人参加—



「2019年障がい者辺野古のつどい」が2日、辺野古テント村で400人の参加で開かれました。テント最前列に車いす10数台並び、視覚や聴覚障がい者など心身に障がいを持つ人だけでなく健常者も、「基地のない平和な沖縄と日本を」と願う思いを共有しました。

耳が不自由な高校生の渡具知和紀さん（写真右下）は「十人十色の意見で未来を変えていこう」と訴えました。故翁長知事の妻・樹子さん（写真下）は「県民投票結果の43万票。マキテーナイビランドー、という翁長の言葉をみなさんと一緒にかみしめたい」と挨拶。ある車いすの女性は「ごめんなさい。毎日来ることはできないけど気持ちは毎日来ていますよ」と話しました。加藤登紀子さんなどからのメッセージが紹介され、歌やギター演奏などもあり楽しく心豊かな時間を過ごしました。閉会あいさつで田丸正幸実行委事務局長が「日本の平和にとって障害は安倍首相だと思う」と締めくくりました。



サンシンの日 ゲート前は文化祭 ロバートさんも加わり三線演奏や踊り

3月4日は三線(さんしん)の日。11時からゲート前でロバート・カジワラさんや稲嶺進前名護市長、中村司統一連代表幹事など約20人が、祝い唄「かじゃで風」などを三線演奏し、女性たちが踊りました。しかし、12時半から機動隊が出てきて、ゲート前に集まった約200人の座り込む“聴衆”を排除しました。しかし、道路の反対側では三線演奏や琉舞、古武道、下駄踊りなど続けました。13時過ぎフィナーレを迎え、ロバートさんも交えてみんなでカチャーシーを踊りました。これがうちなーんちゅのたたかいです。したたかに、しなやかに、非暴力で音楽と文化の力でたたかっています。いつもは10～15分で排除される座り込みが、今日はゲート前の文化祭で約1時間も工事車両が基地内に入れませんでした。

